



REUTERS/Vincent Kessler

日本の学術誌の現状について

トムソン・ロイター
学術情報ソリューション
出版・学会事業担当マネジャー

波多野 薫



THOMSON REUTERS

トムソン・ロイターについて

トムソン・ロイター

本社：米国ニューヨーク、NYSE, TSX, 売上高124億米ドル(2013)

FINANCIAL & RISKS

INTELLECTUAL PROPERTY
& SCIENCE

LEGAL

TAX & ACCOUNTING

REUTERS NEWS & MEDIA



大学・研究機関



企業の研究部門・知財部門



製薬・化学業界

- 論文・引用情報、研究評価・分析ツール及びカスタムサービス
- 特許・商標データベース、調査分析サービス、年金管理サービス
- 化合物・化学反応情報、薬事・規制情報、医薬品パイプライン情報、ジェネリック関連情報、データ分析・カスタムレポート作成サービス

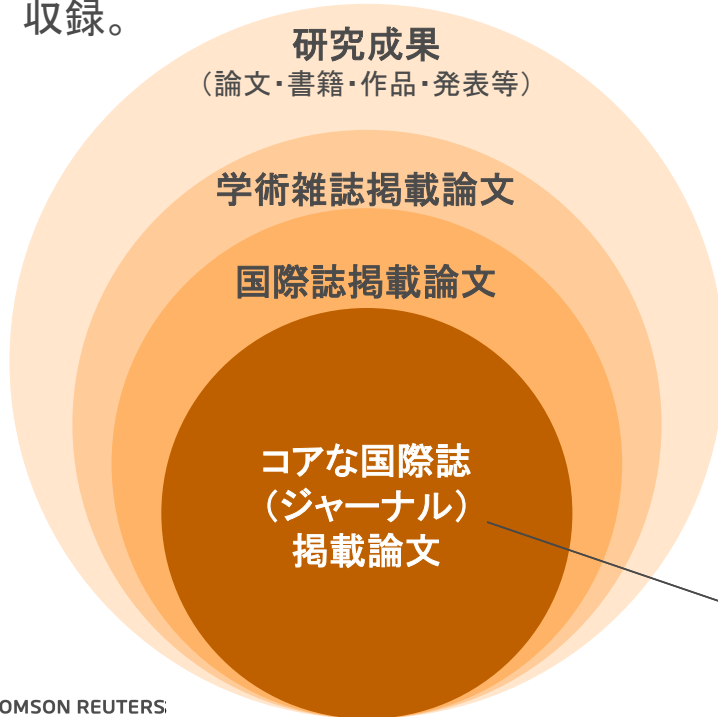


THOMSON REUTERS

Web of Science® Core Collection

学術分野全分野をカバーし、コアジャーナルを集めた文献データベース

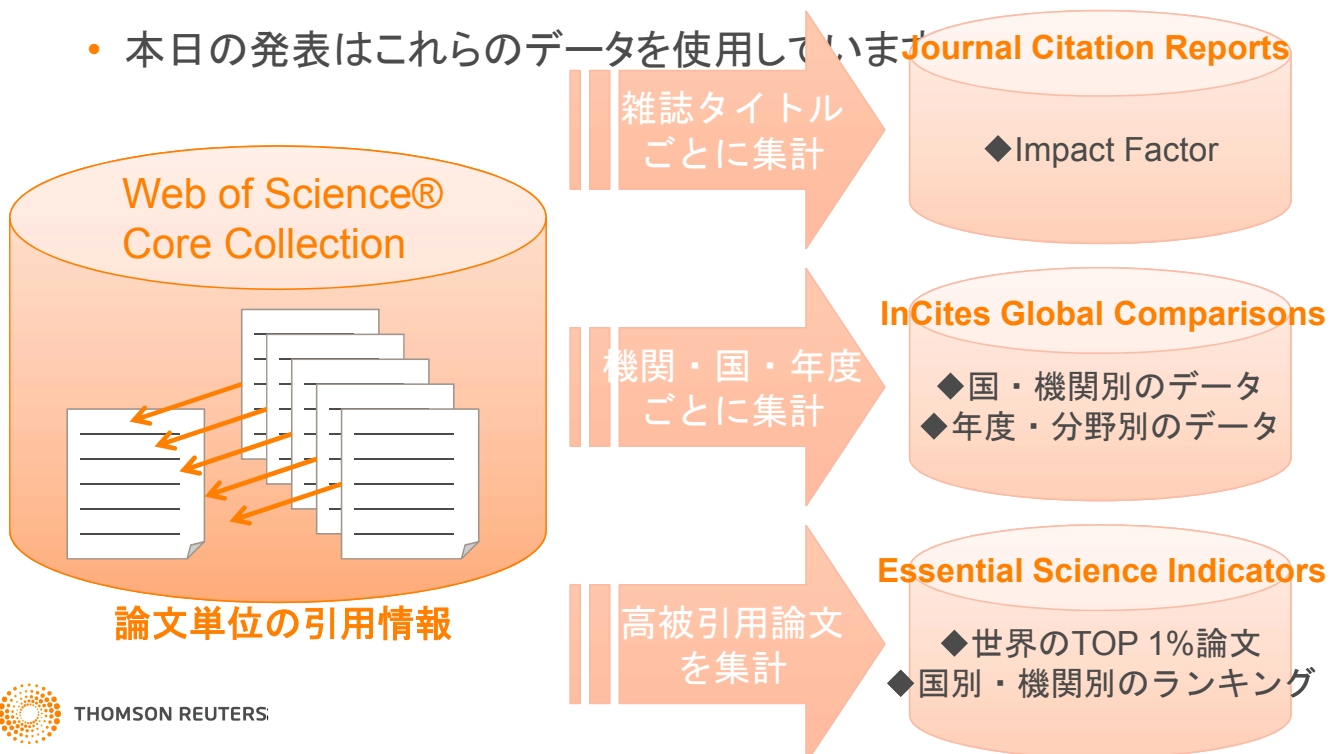
- 研究成果には様々なものがあるが、Web of Science® Core Collectionでは、一定の基準を満たしたコアな国際誌収録論文を収録。



- 「見える化」し易い
- アピールし易い
- アピールすべき
- 当事者以外の方が解り易い
- グローバルな物差しにし易い
- 全体の傾向がある程度予測可能

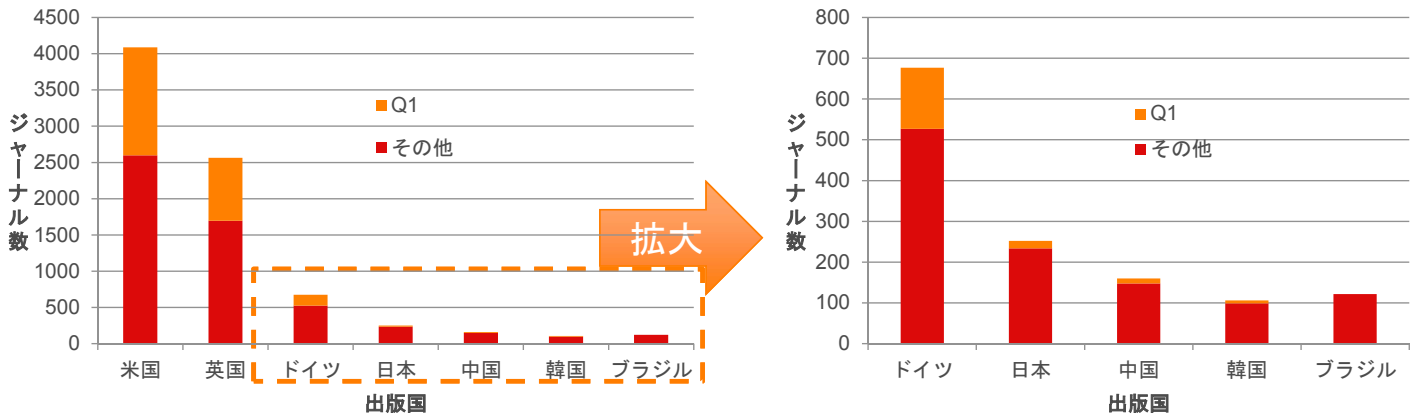
Web of Science® Core Collection を集計した各種データ

- Web of Science® Core Collectionを元に様々なデータを集計・提供
- 本日の発表はこれらのデータを使用しています



日本の学術誌の現状

国別 Web of Science® Core Collection収録誌数

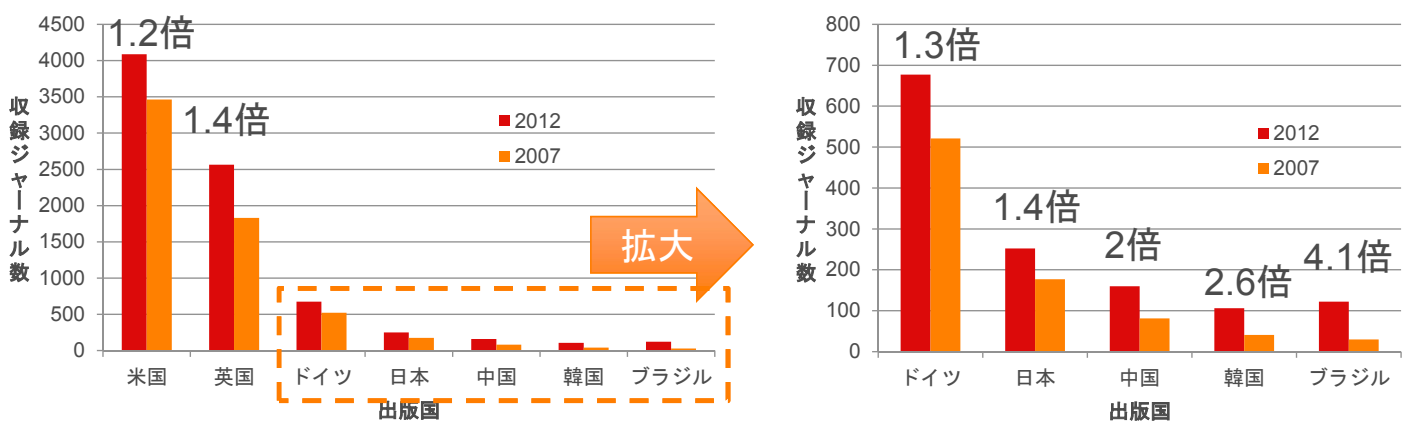


- WoS収録誌数で、日本は世界4位
- 分野内でのインパクトファクターの順位上位25%(以下Q1)のジャーナルの割合は、米国・英国・ドイツに比べて日本、中国、韓国、ブラジルは低い



日本の学術誌の現状

国別Web of Science® Core Collection収録誌数推移



- トムソン・ロイターでは、2007年から2012年にかけて収録誌数を増やしており (特にRegional Journal)、日本を含む各国でWoS収録誌が増加している。
- 中国・韓国・ブラジルのWoS収録誌数の伸び率は、日本の伸び率と比較して高い



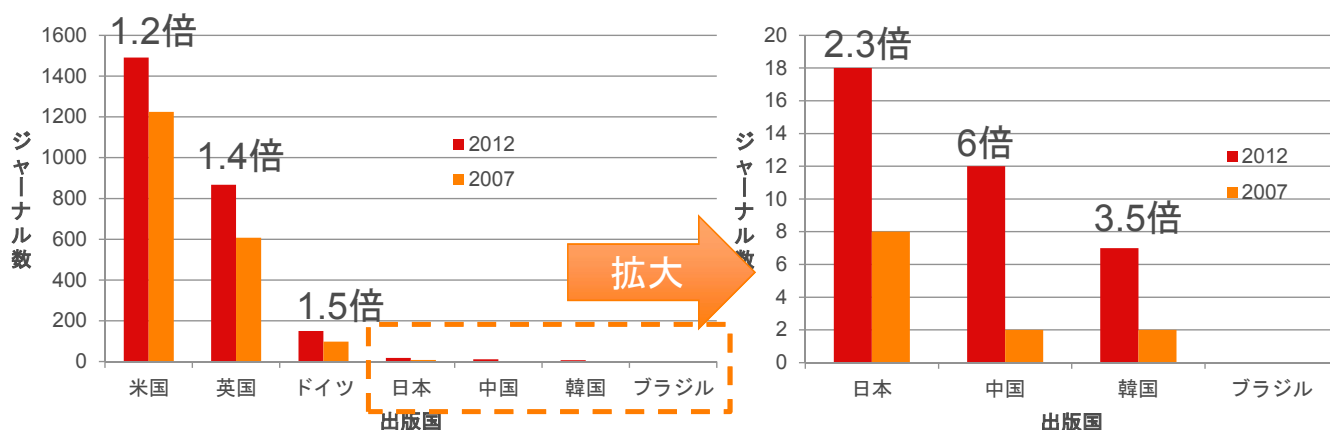
Regional Journals

- Publish excellent research targeted at a regional rather than international audience
- Citation Impact may be low to moderate – but **stable**
- Regional journals meet all journal selection criteria



7

日本の学術誌の現状 国別 Q1ジャーナル数 推移

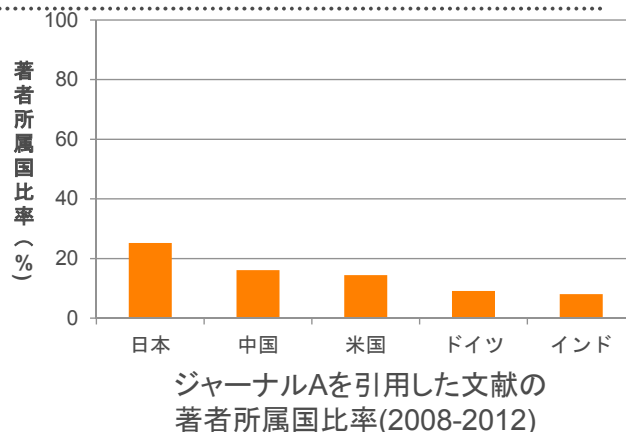
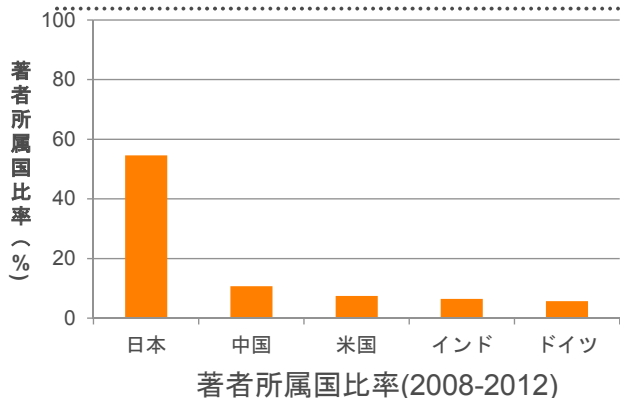


- 日本のQ1ジャーナルの数は5年間で2倍以上に増加しており、米国や英国、ドイツに比べて伸び率が高い。
- 中国・韓国のQ1ジャーナル数の伸び率は日本よりも高い。



8

国際発信力を引用の観点で見る 日本のQ1ジャーナルAの事例

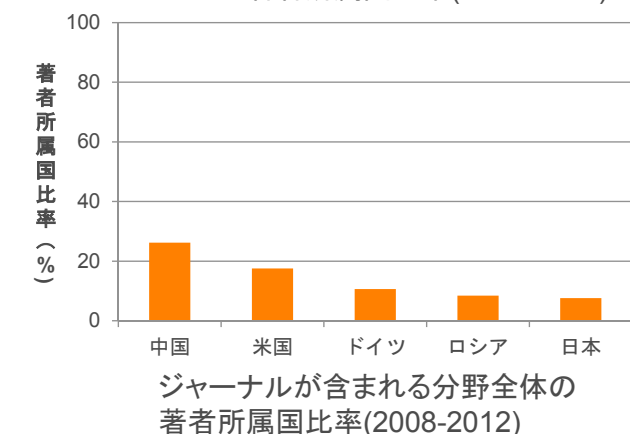
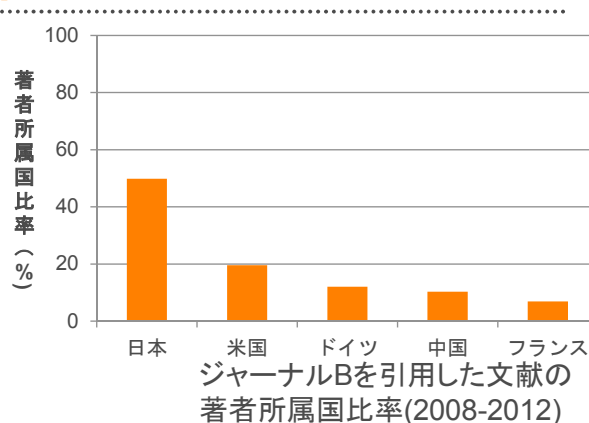
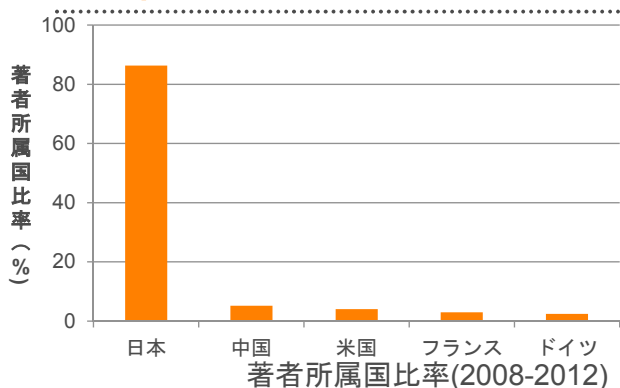


- 著者の所属国で見ると日本の比率が高い。
- ジャーナルAを引用した著者の所属国の分布は、ジャーナルが含まれる分野全体の著者の所属国の分布と比較すると、日本の比率が高い。



THOMSON REUTERS

国際発信力を引用の観点で見る 日本のQ1ジャーナルBの事例

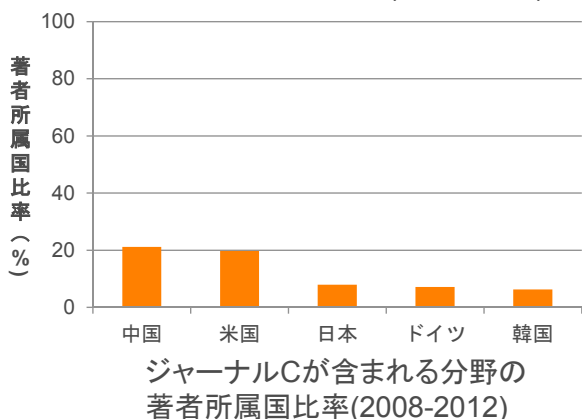
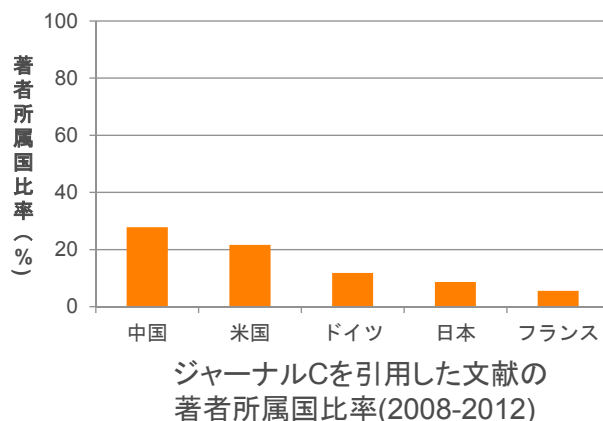
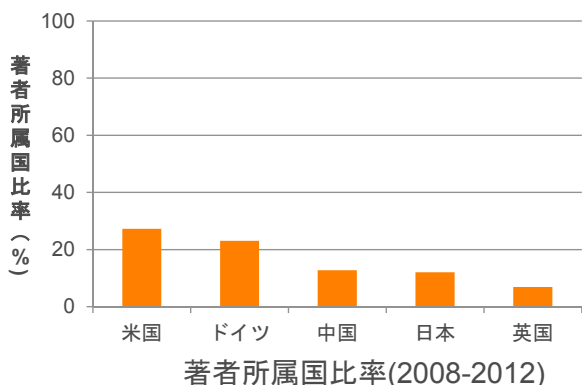


- 論文の著者の所属国の日本比率が高い。
- ジャーナルBを引用した著者の所属国の分布は、ジャーナルが含まれる分野全体の著者の所属国の分布と比較すると、日本の比率が高い。



THOMSON REUTERS

国際発信力を引用の観点で見えてみる 海外のトップジャーナルCの事例



- ジャーナルCは、ドイツの学会誌であるが、論文の著者の所属国では、米国の比率が最も高い。ドイツは2番目である。
- ジャーナルを引用した文献の著者所属国は、分野全体の著者比率と同様、中国・米国の比率が高い



日本の研究〈全分野〉

- 日本は論文数では世界第4位、相対被引用度では世界平均と同等

	論文数	相対被引用度
USA	3,271,256	1.47
CHINA	1,085,551	0.66
GERMANY	840,457	1.28
JAPAN	770,839	1.00
ENGLAND	761,022	1.41

Thomson Reuters InCites Global Comparisons
2003.1-2012.12

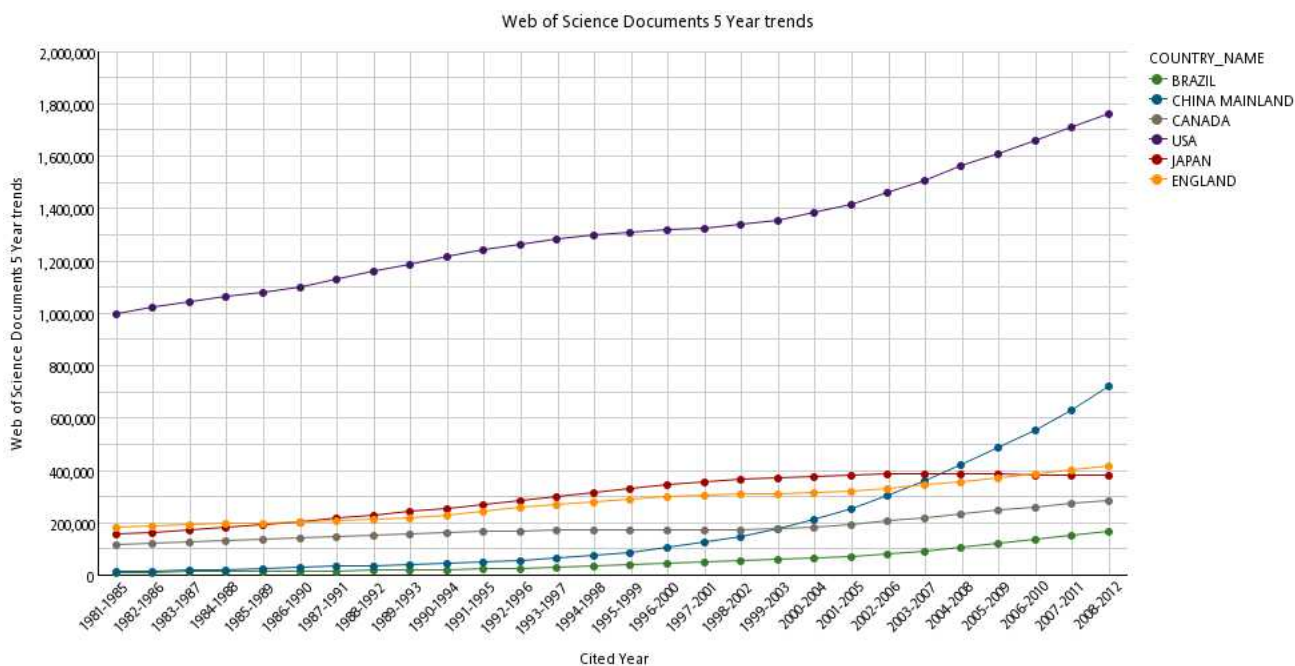
論文数: 調査期間内に出版された論文の合計

相対被引用度: 各国の論文の世界平均に対する相対的なインパクトを表わす指標
対象国の平均被引用数を同期間の世界の平均被引用数で除したもの
(特定分野、特定期間)



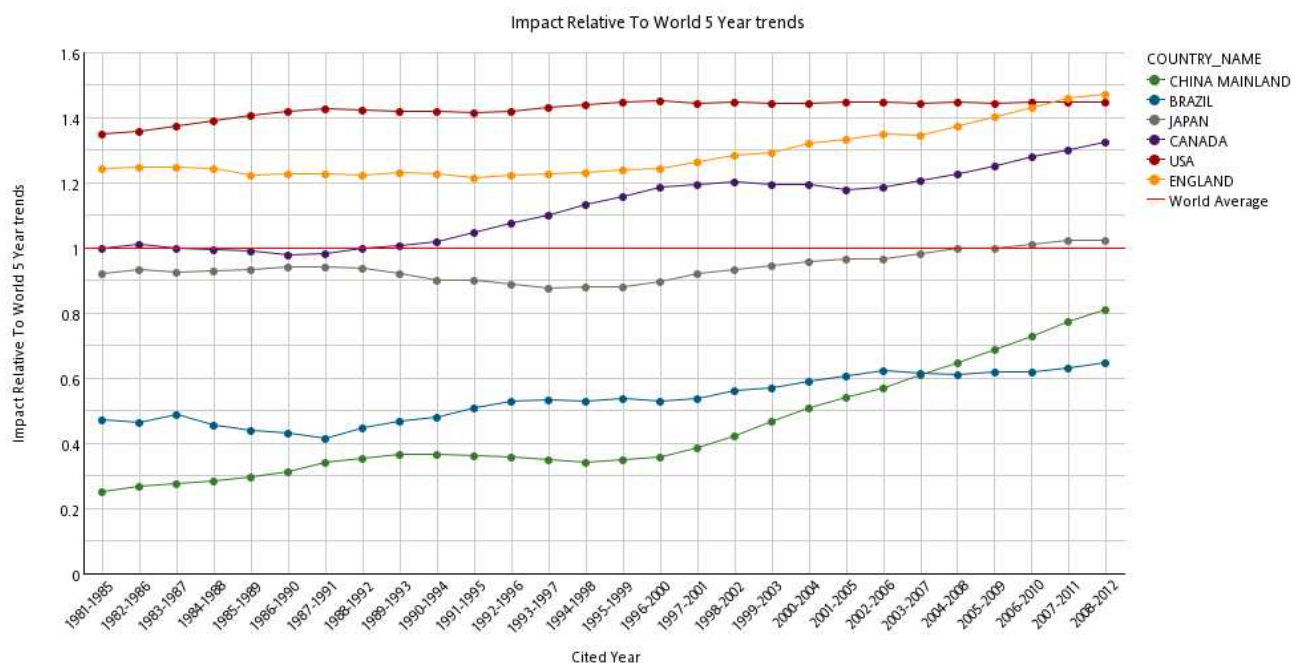
主要国の論文数の推移<全分野>

- 日本の論文数は近年安定傾向にある。米国や中国の論文数は伸びている。



主要国の論文の相対的なインパクトの推移<全分野>

- 日本の相対被引用度は徐々に伸びている。中国、英国、カナダの相対被引用度の伸びが大きい。先進国でも相対被引用度が伸びている。



論文の引用に影響を与える要素とは？

- 論文の引用に影響を与える要素とは？
 - 論文の重要度・分かりやすさ
 - 論文と関係する研究分野の研究者数
 - 論文の存在を知っている関係分野の研究者の割合
 - 論文を読みたい研究者が、論文を読める割合

